発行日：
2018年3月19日

明治学院大学心理学部　白金心理学会報

さいころ

第10号

2017–2018

白金心理学会イベント

- 2017　年　6　月　11　日
  白金心理学会第10回記念大会：総会、2016年度奨励費獲得者研究成果報告、2017年度奨励・活動費獲得者ポスター発表、記念対談「白金心理学会10年とこれから」、特別講演「心理学で犯罪を捜査する～犯罪捜査心理学の最前線」、懇親会　開催
- 2017年6月28日
  在学生部会SC第24回キャリア支援シリーズ「大学院生による院進学説明会2017」開催
- 2017年12月15日
  在学生部会SC第25回キャリア支援シリーズ「1,2年生向け院進学相談会」開催

会報第10号発行に寄せて

花田　安弘　学会長（心理学部長）

皆様、こんにちは。さいころ第10号をお届けします。

2017年度は心理学科は公認心理師対応、教育発達学科は再課程認定申請対応に追われた1年でした。

まず公認心理師については、昨年の夏ごろに漸く資格に必要な科目が明らかになり、それに対応するために2018年度のカリキュラムの変更に着手しました。実習先の一部は確保がまだ確定していない部分はありますが、概ね2018年度入学の学生については資格試験受験の前提条件を満たすことができると思います。在学生や卒業生の皆さんについては、科目の読み替えなどで対応できる部分とできない部分があり、必ずしも皆さん全員が公認心理師資格試験受験可能とは残念ながらならない様です。本年6月の白金心理学会総会の後、各学科に分かれてそれぞれ行事を行う予定であり、これもまだ確定ではありませんが、心理学科については公認心理師についての話題を取り上げることが学会の運営会議で検討されています。関心のある卒業生の方は今後のお知らせにご注意いただきたいと思います。

花田　安弘先生

教育発達学科の教職課程の再課程認定申請については、昨年春ごろから学務教職課と連携しつつ文科省への事前相談を行い、申請の準備を行ってきました。今年の4月に申請を行う予定です。こちらも担当科目や教員の条件を満たすために後任人事を検討し、いろいろとやりくりにご苦労があったように伺っております。無事に申請が認可されることを願っております。

この4年間、学部長と白金心理学会の会長を勤めさせていただきましたが、2018年度からは新しく教育発達学科の緒方先生が学部長、白金心理学会会長に就任されます。私の在任中は皆様に大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。緒方先生の新体制の下、心理学部と白金心理学会が更に発展するように願っております。卒業生の皆様のますますのご支援をどうぞ宜しくお願い致します。

白金心理学会第11回大会のお知らせ

野末　武義先生（心理学科教授）

白金心理学会第11回大会は、下記の要領で開催されます。本会も今年で11回目を迎えることになり、これまでの10年と少し構成を変更することになりました。一つは、これまで夕方から開催していた懇親会をお昼に移しました。それによって、遠方から参加される方も、帰りの時間を気にすることなく、ゆっくりご歓談いただけるかと思います。二つ目は、従来の学部全体のプログラムに加えて、学科別のプログラムを組み込んだことです。

心理学科と教育発達学科は、心理学部という共通基盤を持ちつつ、それぞれの特徴と独自性を活かしながら発展してきましたが、今回は両学科それぞれの過去・現在・未来をつなぐ時間になるかと思います。また、お子様連れでも参加しやすいよう、事務局では当日の運営を工夫してくれています。卒業生・修了生にとっても在校生にとっても、いっそう魅力ある大会になることと思います。

多くの皆様の参加をお待ちしております。

白金心理学会第11回大会

日時：2018年6月10日（日）10：30開始
会場：白金校舎本館（本会場：1255教室
　　その他会場：1251～1254教室）

スケジュール

10:30 ～ 12:00	総会・研究奨励発表・博士号取得者講演
12:30 ～ 14:00	懇親会（白金校舎本館10階大会議室）
14:15 ～ 15:15	学科別講演会（予定） 金沢　吉展教授（心理学科） 緒方　明子教授（教育発達学科）
15:30 ～ 17:30	学科別交流会（予定） 心理学科：公認心理師・臨床心理士時代の明学臨床心理学 教育発達学科：未定
17:30	終了

目次：

会報第10号発行に寄せて　1
白金心理学会第11回大会のお知らせ　1
第10回記念大会報告　2
心理学部の思い出　3
心理学部の思い出　4
研究奨励事業報告　5
在学生部会活動報告　5
新任教員のご紹介　6
事務局よりお知らせ　6

第24回キャリア支援シリーズ「大学院生による院進学説明会2017」

6月28日に白金校舎1401教室にて「2017年度明治学院大学大学院心理学研究科説明会」が開催されました。

第1部は、スクリーンに投影し各研究科の院生により説明を行う「全体説明会」、第2部は院生が個別に相談に応じる「個別相談会」を行いました。

全体で30名程度の参加があり、参加者は熱心に説明を受けていました。

また、参加者全員が個別相談に参加していました。

第25回キャリア支援シリーズ「1、2年生向け院進学相談会」

2017年度の1,2年生向けキャリア支援イベントは、初めて心理学科、教育発達学科で分かれて同日開催しました。心理学科は「心理学科大学院進学チャットルーム」、教育発達学科は「教育発達学科院進学相談会」と題し、院進学に関する院生による講演と院生に直接相談できる相談会が行われたイベントでした。

心理学科大学院進学チャットルーム

イベントには、27名の参加がありました。お昼休みということもあり、お昼ご飯を食べながら、和やかな雰囲気の会となりました。

教育発達学科院進学相談会

イベントには、10名の参加がありました。

参加者は少なかったものの、参加者の満足度の高いイベントとなりました。

第10回記念大会報告

野末　武義先生（心理学科教授）

白金心理学会第10回記念大会は、2017年6月11日（日）に開催され、100名近い方々にご参加いただきました。今回は、第10回記念対談として元心理学部長の金子健先生と井上孝代先生にご登壇いただき、「白金心理学会10年とこれから」と題してお話しいただきました。金子先生には、文学部心理学科の時代からの歴史を数々の懐かしい写真と共にお話しいただきました。また、井上先生には、心理学部と白金心理学会のこれまでの歩みを踏まえて、これからの方向性について具体的な示唆をいただきました。久々の金子節と井上節を聞くことができ、とりわけ卒業生の皆さんは喜ばれていたようです。

井上孝代先生

金子健先生

また、今回のもう一つの目玉は、越智啓太先生（法政大学教授）の特別講演「心理学で犯罪を捜査する～犯罪捜査心理学の最前線」でした。越智先生は、日本の犯罪心理学の第一人者であり、本学心理学科および心理学専攻でも非常勤講師として御出講いただいています。ご講演では、犯罪心理学とはどのようなものか、実際にどのように生かされているかについて、具体的に分かり易くしかも面白く教えていただきました。越智先生のお話を楽しみに参加された方も多く、皆さん大満足の様子でした。

越智啓太先生（法政大学教授）

夕方から開催された懇親会には、50名以上の参加があり、久しぶりに再会した旧友や教員と楽しい語らいの時を過ごすことができました。

ご登壇いただきました先生方、準備や運営を担ってくださった事務局と学生部会SCのみなさん、どうもありがとうございました。

懇親会の和やかな様子

心理学部の思い出

中井　あづみ先生（心理学科）

今の自分は、生まれてからの自分がえんえんと編み込まれている物体だと思っているので、思い出をたどることがめったにありません。ですので、大学の頃の自分が、今の自分にどのように編み込まれているかを少し書こうと思います。たとえば、2年時の基礎ゼミで、半期は実験でした。パーソナル・スペースについて、指定の英語論文を図書館で探し、その論文と似た条件を求めて、街中で追試をしました。結果はうまく出ませんでしたが、今も実験するとその時と同じようにわくわくします。もう半期は、月3～4冊の課題文献を予め読んでのディスカッションでした。一番理解できなかった文献は、柄谷行人の「探求Ⅰ」でした。同じ考えを持つ人との話は、ひとりごとと同じだ、対話とは、考えを共有しない人に教え学ぶことで、それは命がけの飛躍なのだ、という主張でした。面倒なことを言うなと思いながら何となく心に引っかかって、臨床にたずさわるようになってから少しずつ自分なりの意味を実感するようになりました。大学は、友人も先生も、文献も、古今東西の様々な人と出会える交差点のような場所だと思います。

王維の七言絶句「元二の安西に使いするを送る」は別れの詩ですが、出会いが人にどれほど大きな影響をおよぼすかを逆説的に伝えています（ただし、お酒は二十歳になってから、です）。たくさんの人や事物、考えと出会い、皆さんの交差点をぜひにぎやかにしてください。

渭城の朝雨　軽塵を浥し
（いじょう　ちょうう　けいじん　うるお）
客舎青青　柳色新たなり
（かくしゃせいせい　りゅうしょく）
君に勧む　更に尽せ　一杯の酒
西のかた　陽関を出づれば　故人無からん
（ようかん）

中井ゼミの様子

中井ゼミ合宿の様子

出井　雄二先生（教育発達学科）

2010年3月、白金校舎の研究室に荷物を運んで来てから、早くも8年が経ってしまいました。あっという間の8年間、すごく楽しく充実した8年間でした。

小中学校の教員を29年経験してから大学という未知の世界に飛び込んできたのですが、初めは？？？の連続でした。

忘れられないのは「FD」という言葉を聞いた時です。意味が分からず「フロッピーディスク」について話し合うのかな、そんな訳はないな、と戸惑ったことをよく覚えています。あとから「FDとはFaculty　Developmentの略ですよ」と教えてもらったのですが、今度はFaculty　Developmentが分からない、という漫画のような日々を送っていました。

私は専門が体育科教育ですので、学生とは体育実技や指導法で関わってきました。初めての講義をよく覚えています。45分授業が身体に染みついていたので、自分の中で「そろそろ終わりかな」という時に時計を見たらまだ45分しか経っていなくて、残りどうしようと焦りました。苦肉の策で学生に意見を求めたところ数人の学生が手を挙げて発表してくれたのです。「大学生でも手を挙げて自分の意見を言うんだ」と驚きました。これに味をしめて、私の授業では毎回発表の機会を設けるようになりました。

白金心理学会には、大学に移った当初から6年間、後半の3年間は事務局長として関わってきました。白金心理学会大会等のイベントの企画・運営、研究奨励金の創設は大変でしたけど、いい思い出です。

振り返れば、小中学校教員を含めて37年間の教員生活の中で明治学院大学が7校目ですが、実は一番長いのです。そういう意味でも思い出深い職場です。

心理学部の先生方、職員の皆さん、そして学生達が皆さん、紳士的でスマートで、きちんとしていてとても働きやすい環境であったことに心から感謝いたします。8年間、本当にお世話になりました。

出井　雄二先生

出井ゼミ集合写真

～極楽の2年間～心理学部の思い出

長谷川　康男先生（教育発達学科）

長谷川　康男先生

長谷川ゼミ合宿の様子

2010年4月に明治学院大学に教育発達学科開設と同時に赴任して、はや8年が過ぎ去ろうとしています。

1年目は、授業はたった一回でした。昔の相撲取りは、年一場所、10日間開催であったため、“一年を十日で過ごすよい男”と言われたそうですが、私は、“一年を90分で過ごすよい男（？）”でした。授業は、オムニバスの教育発達学概説のなかで「小学校教師の仕事」を経験に基づいてお話したのでした。

2年目からは、第一期生も2年生になり(当然ですが)、生活科と生活科指導法の授業が始まりました。それでも、年に2コマと、オムニバスの一回の授業だけでした。

3年目からは、それにゼミが加わり、4年目からはいよいよ教育実習も始まり、現在と同じような授業数、仕事量になりました。

授業は、学生が教員になっても「学び直さなくともよい授業」を目指し、本質をわかりやすく知らせることに徹底しました。うまくいったかどうかは、我がゼミ排出の29人の正規教員に５年後に聞いてみたい。

なんという“恵まれた２年間”を過ごしたのでしょう。3年間と言いたいところですが、3年目は4年目から始まる教育実習の90人分の実習校確保のために、緒方先生と横浜市校長会、新井先生と川崎市教育長、川越市教育委員会、小林先生と大和市教育委員会、藤﨑先生と幼稚園園長会長、川崎市教育委員会etc.を回り、それなりに忙しくなりました。

小学校教師からの転進であったため、慣れぬことが多く戸惑いましたが、みなさんのご好意とご親切に支えられて何とかやり終わりそうです。いろいろと助けてくださった皆様に心より感謝申し上げます。来年からは、引き続き非常勤でお邪魔しそうです。どうぞよろしくお願い致します。最後に皆様のご健康とご活躍を祈念して筆を置きます。

藤﨑　眞知代先生（教育発達学科）

藤﨑　眞知代先生

藤﨑ゼミ合宿の様子

心理学部は本学において最も新しい学部ですが、もう14年が経過しようとしています。2000年４月に文学部心理学科に赴任して以来、心理学科に10年、教育発達学科に８年所属したことになります。心理学科所属当時の2008年度に文科省の教育ＧＰに採択されたこと、そこでの学びのシステムを教育発達学科の基幹科目として位置づけ今日に至っていることには、「心を探り、人を支える」という心理学部の教育理念を教育課程に組み入れることができたと思っています。心理学や教育発達学という座学と実験・実習、さらには現場体験を重視した２学科の教育システムの特徴は、一人一人の学生さんの興味・関心によっても受け止め方が違うと思います。そして実際に何を学びとることができるか（できたか）は、授業だけでなく大学生活におけるサークル、ゼミ、白金心理学会、さらにはアルバイトなどでの出会いによっても大きく異なることでしょう。２つの学科の教員として学生さんとの触れ合いから、心理学と教育発達学の学問としての共通性と異質性、それぞれの学科をめざす学生さんの気質の特徴などを感じ、受け止めながら、人と向き合う姿勢の基盤として自分と向き合うこと、そして自己決定を大切にすることを伝えたいと努めてきました。

少子高齢化・情報化時代、そしてＡＩ時代が進むなかで、心理学部における学びはますます社会のニーズが高まっていくと思われます。心理学部の２学科を繋ぎ、また交流の場としての白金心理学会での活動を通して、明治学院大学心理学部として「心を探り、人を支える」独自のメッセージを発信していくことを期待しています。

最後に日野原重明氏の言葉を贈ります。『常に「キープオンゴーイング」（前に進み続けよう）』

研究奨励事業報告

垣花　真一郎先生（教育発達学科）

白金心理学会第10回大会において、2016年度の研究成果報告および2017年度の研究奨励費獲得者の発表が行われました。

1.　2016年度研究奨励費獲得者による研究成果報告

博士前期課程2年の鈴木雄大さん他2名による「ネガティブフィードバックによるネガティブ感情に対する気逸らし方略の検討―代替思考・気晴らし・マインドフルネスを比較して―」について、研究代表者を中心に研究成果の報告がなされました。この研究では、ネガティブフィードバックによって喚起されたネガティブ感情を回復させる気逸らし方略の効果を検討したものです。気逸らし方略として、ポジティブな代替思考、気晴らし、マインドフルネスが検討されました。実験開始時、ネガティブフィードバック後、気逸らし課題後にネガティブ感情の程度を測定した結果、気逸らし方略の効果が認められました。一方、気逸らし課題間の差異は検出されず、気逸らし方略によらず効果があることが示唆されました。研究成果の要旨は学会HPにて公開されていますので、是非、ご覧ください。

2. 2017年度研究奨励費獲得者の発表

研究奨励費として採択された研究は、教育発達学科4年の白石諒さんによる「ESDにおけるホールスクール・アプローチ」です。ESDとは"Education for Sustainable Development"の略称で「持続可能な開発のための教育」と訳される概念です。この研究ではESDを推進するための実践手法の１つであるホールスクール・アプローチの有効性をフィールドワーク等を通じて明らかにしようとするものです。

2017年度の応募は、残念ながら研究奨励費1件のみで、活動奨励費への応募はありませんでした。皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

研究成果報告の様子

研究奨励費獲得者の発表

在学生部会活動報告

在学生部会3年　丸山　絵美

こんにちは、白金心理学会在学生部会SCです。2017年度の活動を報告します。

在学生部会では、心理学部生の支援を目的として、フレッシャーズ研修と心理学科交流会、スポーツ交流会を毎年企画しているほか、今年度は秋のキャリア支援企画として院進学チャットルームを開催しました。また、院生SCが主催の院進学イベントも行いました。

まずフレッシャーズ研修ですが、これは新しく入学した1年生を対象に、レクリエーションや学生生活についての説明などを行うイベントです。入学して間もない時期のイベントのため、初めは皆緊張した様子でしたが終わる頃にはたくさんの笑顔が見られました。

次に行われたスポーツ交流会は、教育発達学科の１年生を対象にスポーツを通して交流を図る会です。様々なスポーツを通じて1年生たちの絆がより強固なものになったように感じられる会となりました。心理学科交流会は、心理学科の1年生を対象に行われる交流会です。今年も1年生の笑顔がたくさん見られた会となりました。

院進学チャットルームは、心理学部の1,2年生を対象に、明治学院大学心理学コースの院生を実際に招いて疑問や不安を直接相談する会です。参加した生徒たちからは「ためになる会だった」「疑問が解消できた」などの声が聞かれました。

院生SC主催の院進学イベントは、院試説明会と個別相談会の2部構成で開催し、こちらも院進学を目指す学生の疑問や不安を解消できる会となりました。

今年度の活動内容は以上となります。来年度も、心理学を学ぶ学生のための、より一層の支援を目指して新しい企画立案なども行っていけるよう精進してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

SC活動一覧

4月	フレッシャーズ研修（1年生）
5月	教育発達学科 スポーツ交流会（1年生）
6月	白金心理学会第10回記念大会　運営補佐 心理学科交流会（1年生） 第24回キャリア支援シリーズ「大学院生による院進学説明会2017」（3,4年生）
12月	第25回キャリア支援シリーズ「1,2年生向け院進学相談会」

新任教員のご紹介

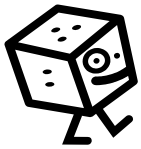
森本　浩志先生

森本　浩志先生　　2017年4月に心理学科に着任いたしました森本浩志（もりもと ひろし）です。生まれも育ちも横浜ですが、昨年までは広島に5年ほどおりました。広島県人が作る広島風お好み焼きのお店が少ないのが、最近の悩みです。私の専門は臨床心理学、特に認知行動療法です。認知症の方の家族介護者への支援を研究テーマとしています。最近では働きながら、認知症を患ったご家族の介護をされている方が増えています。このような家族介護者は、介護と仕事を両立という大変な課題に取り組まれながら、日々の生活を送っており、心身の健康を崩されやすいと言われています。介護を理由とした退職者は、年間10万人を超えているという報告もあります。心理学の立場から、家族介護者の力になれるように、研究と実践を行っています。

杉山　雅俊先生

杉山　雅俊先生　　2017年4月に教育発達学科に着任しました杉山雅俊です。これまでは教育発達学科の助手として勤めていましたが、助教として勤めることになりました。専門は理科教育学です。特に、教師を志望する大学生がどのように理科授業に関する力量を身に付けていくのかということに関心を持ち研究を行っています。理科には、発見と驚きに満ち溢れた自然事象と関わるという魅力だけではなく、学習を通して問題解決能力を高めていくという魅力もあります。学生の皆さん自身が実感的な学びを経ることを通して子どもたちの理科学習の在り方を探究していきたいと考えています。また、問題解決能力は教師だけでなく、一社会人として必要な資質能力です。理科の学びが皆さん自身の成長につながるよう授業の工夫に努めていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局よりお知らせ



白金心理学会
イメージキャラクター
「さいころくん」

○白金心理学会第11回大会のご案内

来る2018年6月10日（日）10:30より白金校舎において「白金心理学会第11回大会」を開催いたします。大会11回となる今年は開始時間を早め、例年夜に行っていた懇親会をお昼に開催し、午後は専門性の異なる学科を分けて、各学科の先生による講演会が行われ、その後は交流会形式で活発な年代を越えたコミュニケーションを図って頂きたいと、大幅にスケジュールを変更しております。各学科の講演は心理学科は金沢先生、教育発達学科は緒方先生に卒業生向けの講演をして頂きます。お昼の懇親会では、同期の仲間や先輩、後輩たちに会う良い機会になれば幸いです。皆様お誘いあわせの上、是非ご参加下さい。（大会・懇親会共に当日参加も可能ですが、資料、料理の手配の関係上、白金心理学会ホームページからの事前申し込みにご協力下さい。是非、皆様、奮ってご参加下さい。）

○白金心理学会のホームページがリニューアルしました！

2017年度より白金心理学会のホームページがリニューアルしました。昨今のスマートフォンの普及を考慮し、スマートフォンでも見やすいようになりました。その他にも情報が瞬時に得られるように細部に渡って、分かりやすくバージョンアップしました。是非、ご覧下さい。

○教員の動向

2018年3月、中井あづみ先生（心理学科）、出井雄二先生（教育発達学科）、長谷川康男先生（教育発達学科）、藤﨑眞知代先生（教育発達学科）が退職されました。

2018年度のサバティカルは心理学科は花田安弘先生、伊藤拓先生、金城光先生、教育発達学科は鞍馬裕美先生、水戸博道先生です。2018年度は出校されませんので、ご注意下さい。

○卒業生のみなさまへ　白金心理学会にご入会下さい！

すでに学部生および大学院生の皆様には入学・進学時にリーフレットを配布しご案内しておりますが、在学期間中は学会費として一人年間2,000円をお預かりしております。

卒業生の皆様におかれましても、この機会に是非ご入会下さいますようお願いいたします。

発行：
明治学院大学心理学部
白金心理学会 事務局

〒108－8636
東京都港区白金台1－2－37
明治学院大学11号館302号室

TEL＆FAX:
03(5421)5814
問い合わせ用E-mail：
shinro@psy.meijigakuin.ac.jp

白金心理学会第11回大会参加申し込み及び住所変更は下記URLまで
URL：https://psy.meijigakuin.ac.jp/shiropsy/